

報道関係各位

2017年11月17日

「世界トイレの日」に合わせ、衛生課題への取り組みに関する 日本イニシアティブ共同宣言を発表

LIXIL グループ、世界トイレ機構、サラヤ、ANA BLUE WING プログラムが賛同

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、本日、世界トイレ機構（World Toilet Organization）、サラヤ株式会社（以下サラヤ）、ANA ホールディングス株式会社 BLUE WING プログラム（以下 ANA BLUE WING プログラム）と共に、「衛生課題への取り組みに関する日本イニシアティブ共同宣言」に賛同しました。この共同宣言は、国際連合が設定した「持続可能な開発目標（SDGs）」に掲げられた「目標 6: すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」の実現に向けた、賛同企業・団体のコミットメントを示したものです。この宣言は、本日東京で開催された「LIXIL 世界トイレの日フォーラム 2017」にて発表されました。

世界では、約 23 億人にのぼる人々が、安全で衛生的なトイレを利用できず、このうち約 8 億 9,200 万人が屋外排泄を余儀なくされています。加えて、不衛生な環境に起因する下痢性疾患が原因で命を落とす 5 歳未満の子供たちは、1 日あたり 800 人にも上ります。LIXIL グループと英国の研究機関オックスフォード・エコノミクスが連携して実施した調査によると、2015 年に衛生環境の未整備がもたらした経済損失は、世界全体で約 2,230 億ドル（約 22 兆円、1 ドル=100 円、2016 年 8 月調査時点レートで換算）だったことが明らかになっています。

共同宣言に賛同する 4 つの企業・団体は、SDGs の「目標 6」の実現のためには、イノベーションを生み出し、低価格で持続可能なソリューションを市場に投入することが必要であり、そのためには独自性が高く、高度なトイレ文化を築いてきた日本が重要な役割を担うという認識を共有しています。LIXIL グループ、サラヤ、ANA BLUE WING プログラムは、世界の衛生課題の解決に向け、それぞれが培ってきた知識やノウハウを生かした取り組みを推進していきます。

本日、東京で開催されたイベントに登壇した世界トイレ機構の Jack Sim 氏は、次のように述べています。「トイレはまさに文化だといえます。優れたトイレ文化を作り上げることで、行動変容につながります。これまで漫画、日本食、カイゼンの経営手法など、様々な日本文化が海外へ紹介されてきましたが、日本のトイレ文化を輸出する時期がきたのです。本日発表した共同宣言は、最初のステップであり、日本でさらに多くの人々の賛同を得ることで、大きな取り組みとして発展させていきたいと思えます。こうした取り組みは、劣悪な衛生環境で暮らす人々にメリットを提供するだけでなく、日本の優れた文化を世界に発信することで日本の優位性を高めることにもつながります」。

また、LIXIL グループの執行役専務の Jin Montesano は、次のようにコメントしています。「LIXIL グループは、安全で衛生的なトイレを利用できるということは、基本的人権であるという考えのもと、専門知識や技術を活用することで、衛生課題の解決に取り組んでいます。当社は、SATO ブランドを通じて、開発途上国向けに低価格を実現した水まわり製品を展開していますが、革新的かつ持続可能なソリューションを生み出し、市場に提供することで重要な役割を果たすとともに、共同宣言で示されている通り、他の日本の関係者との連携を強化していきます」

水まわり製品のグローバルリーダーである LIXIL グループは、2020 年までに 1 億人の衛生環境を改善するという目標を掲げています。この目標達成に向け、「Social Sanitation Initiatives 部」という専任部署を設置し、開発途上国の低所得者層向けに、先進的な技術の実用化を推進していま

す。また、SATO ブランドの製品は、アフリカ、アジア、ラテンアメリカを含む世界 15 カ国以上で使用されており、600 万人以上の衛生環境の向上を実現してきました。

■ LIXIL、LIXIL グループについて

LIXIL について

株式会社 LIXIL は、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。LIXIL、American Standard、GROHE、DXV、INAX、Permasteelisa をはじめとする業界をリードする数々のブランドを有し、水まわり製品から内外装建材をはじめとする先進的な製品・サービスの提供を通じて、世界中の人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に貢献しています。現在、世界 150 カ国以上で事業を展開し、70,000 人超の従業員を擁しています。

LIXIL ウェブサイト：<http://www.lixil.co.jp/>

LIXIL グループについて

株式会社 LIXIL グループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社 LIXIL をはじめ、株式会社 LIXIL ビバ、株式会社 LIXIL 住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2017 年 3 月期の連結売上高は 1 兆 7,864 億円*です。

LIXIL グループウェブサイト：<http://www.lixil.com/jp/>

※国際会計基準（IFRS）ベース



世界トイレ機構

衛生課題への取り組みに関する日本イニシアティブ共同宣言

賛同組織：

世界トイレ機構 (WTO)

株式会社
LIXIL グループ

サラヤ株式会社

ANA ホールディングス
株式会社
BLUE WING プログラム

世界トイレ機構 (WTO) は 2017 年 11 月 19 日「世界トイレの日」を迎えるにあたり、深刻で緊急性の高い世界の衛生課題解決に取り組む日本の主要企業である株式会社 LIXIL グループ、株式会社サラヤ、ANA ホールディングス株式会社 BLUE WING プログラムへ呼びかけ、今後の衛生課題への取り組みについて共同で宣言しました。

WTO 及び日本の主要企業 3 社は、この重要な問題について理解を深め、また認知を高めると共に、すべての人が安全かつ清潔な衛生設備を利用できるよう、日本が果たしうる役割について協議しました。これを受け、WTO 及び日本の主要企業 3 社は、同じ目標に向かい衛生課題解決へ取り組んでいきます。

基本方針：

本宣言に賛同する組織は、現在、革新的な製品やソリューションが利用可能であるにもかかわらず、世界中の約 23 億人もの人々が、依然として適切な衛生設備にアクセスできない環境で暮らしていると認識します。また約 9 億人が未だに屋外排泄を余儀なくされており、汚水や汚染物による下痢性疾患および不衛生な生活環境が引き起こす病気で命を落とす 5 歳未満の子供たちは、1 日あたり 800 人にも上ります。

本宣言に賛同する組織は、国際連合 (UN) が設定する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に掲げられた「目標 6.2・2030 年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性および女子、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を向ける」の達成に向けた取り組みを推進します。

これまで様々な政府機構や民間企業などが多大な貢献を行ってきましたが、衛生課題への取り組みの進展は遅れているのが現状です。日本企業は水回り製品、特にトイレ分野で独自かつ高度な知識、技術、専門性を有しており、世界中で衛生環境を向上するためのソリューションの開発と提供において、日本は大いに貢献できるものと私たちは確信しています。

コミットメント：

本宣言に賛同する組織は、独自の専門知識、リソース、スキル、ネットワークを活かし、衛生課題の解決に向けて以下の役割を果たすことを約束します

- 日本のトイレに関する高い衛生水準と技術力を活かして、開発途上国における低所得層向けのトイレ及び衛生環境の向上につながる革新的なソリューションを開発し、それを持続可能な方法で市場に導入する活動の継続・拡大を進めます。
- 衛生施設へのアクセス向上に取り組んでいる国々において、こうしたソリューションの試験導入、実証実験、モニタリングを実現させるため、政府や開発機関および非政府組織の関係者に積極的に働きかけます。
- SDGs の「目標 6」の達成に向けた日本の更なる貢献を実現するため、国内および国際レベルで、より効率的かつ効果的に連携を強化します。
- 様々なステークホルダーの連携による必要性を周知し、幅広い協力体制を構築するために意識向上と啓発活動を強化していきます。